

第4回 小田滋賞選考経過および授賞式の開催

去る6月11日（日）、アルカディア市ヶ谷において第4回小田滋賞授賞式が開催されました。

今回の募集には、4編の応募があり、その内訳は、国際法3編、国際私法1編でした。また、応募者には2名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分けられ、予備審査の結果、すべての応募論文が最終選考の対象となりました。これらの論文については、代表理事から選考委員に委嘱された櫻田嘉章教授、薬師寺公夫教授、柳原正治教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、5月21日（日）に開催された第28回理事会は、第4回小田滋賞の受賞者を以下の通り決定しました。

最優秀賞

該当者なし

優秀賞

該当者なし

奨励賞

児玉純也（京都大学法学部） 研究分野：国際法

堀尾雅光（創価大学法科大学院） 研究分野：国際法

松本倫成（東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻） 研究分野：国際私法

授賞式は、受賞者3名のほか、選考委員の薬師寺教授、柳原教授、そして理事が出席して開催されました。開会の辞のあと、岩沢雄司代表理事から、小田滋賞の趣旨と今回の選考の経緯が説明され、続いて、受賞者に表彰状と副賞目録が授与されました。また、選考委員の2名の先生方から受賞論文に対して期待を込めて詳細な講評を頂きました。引き続き、受賞者の3名から、受賞の挨拶と今後の抱負を述べて頂きました。限られた時間ではありましたが、式典終了後も、受賞者は出席の先生方と歓談の機会をもつなど、和やかな会となりました。

国際関係法教育委員会

委員長 石田 淳